

高周波インバータ RIV-3K-FD



本機は、インバータ構成による、13.56MHz3kWの高周波電源です。

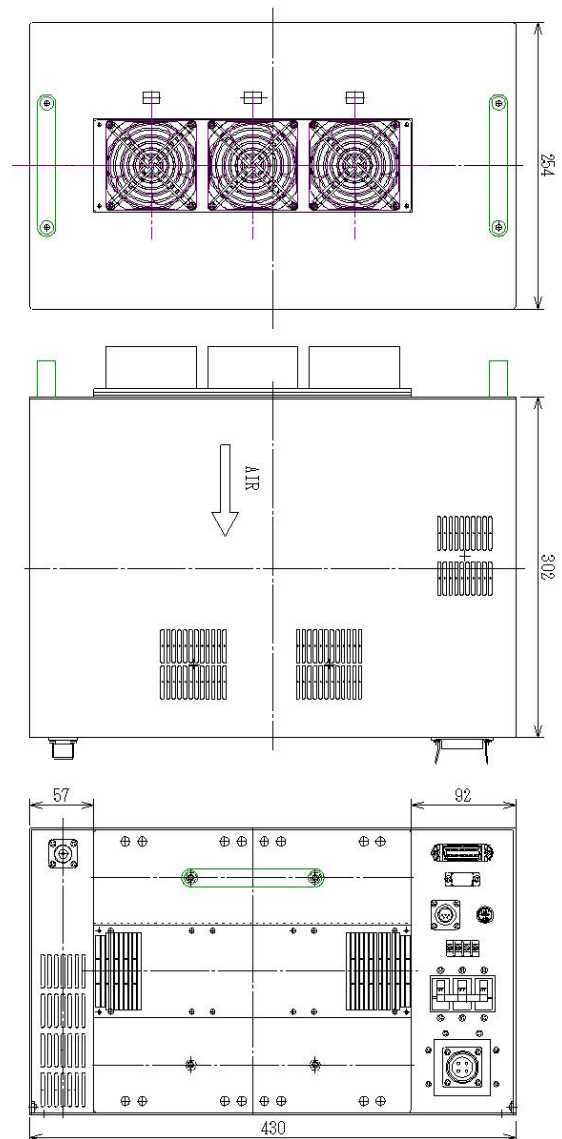
高周波エネルギーの供給用途に適しており、高効率軽量化を実現しました。

仕様・定格

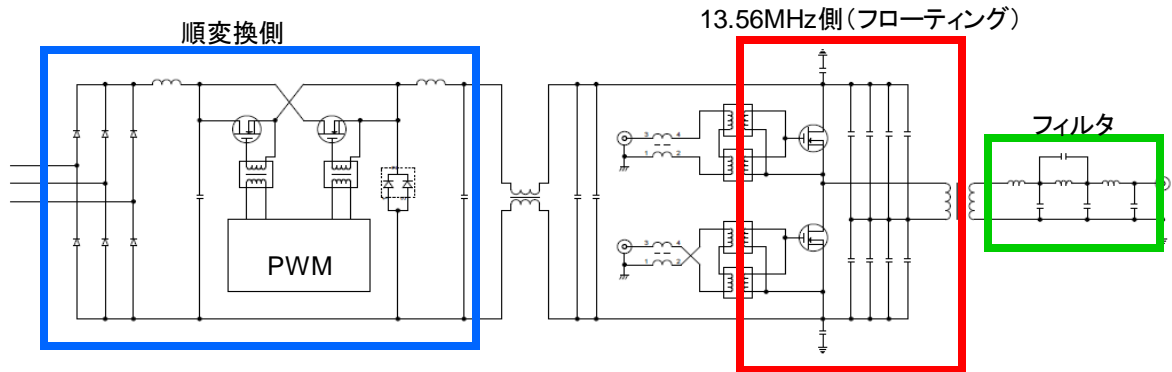
No	項目	仕様
1	周波数	13.56MHz
2	定格出力	3000W (3300W最大)
3	周波数偏差	1kHz以内
4	スプリアス	-50dB以下
5	回路方式	MOSFETハーフブリッジ型
6	操作・表示	リモート専用
7	電源電圧	AC200V三相 約4500W
8	冷却	ファンによる風冷
9	出力コネクタ	HN-R
10	その他のコネクタ	ACIN MS3102 4p 制御 DDK57-40240
11	セット内容	1 本体 2 リモコンユニット 3 ACケーブル 4 リモコンケーブル 5 説明書 6 試験成績書

本機は基本的には、トランスレス構成です。
漏洩電流を規定する医療用途には向きません

外形寸法



原理図



動作解説

本機の順変換側(AC→DC)は、3相整流後にシリーズチョッパを採用し、出力の増減をおこないません。またここは、高調波を押さえる意味で平滑(電解コンデンサ)はおこなっていません。

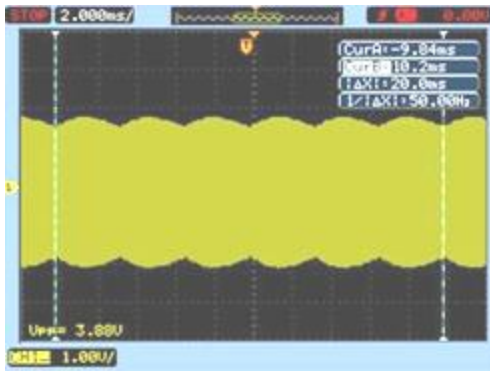
順変換側(高周波出力部)はフローティング構造とし、AC整流電力をそのまま受電できる構成としています。

ここではハーフブリッジの高速スイッチング回路を採用し、高効率を得ています。

出力された高周波は、フィルタを通じて正弦波として外部へ供給します。

参考

RF出力電圧



本機は、低周波のインバータに倣い平滑をおこなっていません。

本機のRF出力波形は写真のように、リップルが含まれますが自動整合器の運転には支障はありません。